

144年の歴史を誇る日本最古の柔道部で、初の女性主務として奮闘中。大会の参加手続き、学内外との交渉、OB・OGとの窓口など、「裏方の業務すべて」を選手兼任で担う。「全国レベルの選手からほぼ初心者まで、互いに高め合う塾柔道部の雰囲気が好き。女子部員やマネージャーの声も拾い、より一体感のある部にしていきたい」。コロナ禍で、昨年度は4カ月超の活動自粛を余儀なくされ、暑中稽古や新年の寒稽古などの名物行事も中止となったが、悲観する向きはない。「いまは“土台固め”の時期と捉えています。日々の練習を通して、部の気風・伝統を次の代に伝えていきたい」。卒業後は、メディアと社会心理の研究に取り組む予定。「学業と柔道部の活動、どちらも全力で頑張ります」



日吉道場に掛けられた福澤先生による訓は、塾柔道部の基本理念



日々の練習メニューは部員たちで計画。今は“土台固め”の練習に力を入れている